

「説明文」自己診断表

月 日 名前

説明文の学習で身に付ける力

自分がすべきことに合わせて、書いていることを正しく読み、
 筆者の言いたいこと、表現の工夫を読み取ること
 書かれている内容について、
 事実(実際にあったこと)と筆者の考えや意見との違いに気づいて読むこと

力を支える技

説明文の学習で学習していく技	イ-スター島	ことばの意味
<p><small>けいしき</small> 形式段落の要点<small>ようてん</small>を書き出すことができる。</p> <p>形式段落の中の大切な文をまとめる技</p>		
<p>意味段落の<small>こみだし</small>小見出しを作ることができる。</p> <p>新聞の見出しや本の目次のように、まとまりごとの内容を簡単に示す技</p>		
<p>文や段落の関係を<small>せつぞくご</small>接続語など最初の言葉に注意して読むことができる。</p> <p>「しかし」「さらに」「1つ目に」などに注意する技</p>		
<p>キーワードを見つけることができる。</p> <p><small>くりかえし</small> 繰り返しや <small>いいかえ</small> 言い換え、題名などから中心になる言葉を探し出す技</p>		
<p><small>ぶんしょうこうせい</small> 文章構成(はじめ・なか・おわり等)がわかる。</p> <p>筆者が「<small>とうかつがた</small> 頭括型」「<small>びかつがた</small> 尾括型」「<small>そうかつがた</small> 双括型」のどれで書き進めているかを探す技</p>		
<p>表現(文末や言葉の使い方)から筆者の伝え方がわかる。</p> <p>言葉に注目して筆者の伝えたい気持ちの重さの違いを想像する力</p>		
<p><small>ようし</small> 要旨(筆者の伝えたいこと)を書きまとめることができる。</p> <p>筆者がその文章の中で一番言いたかったことを読む力</p>		
<p><small>じじつ</small> 事実と筆者の意見の違いに気づきながら読むことができる。</p> <p>事実に対する筆者の意見が正しいものか考えながら読むための力</p>		